

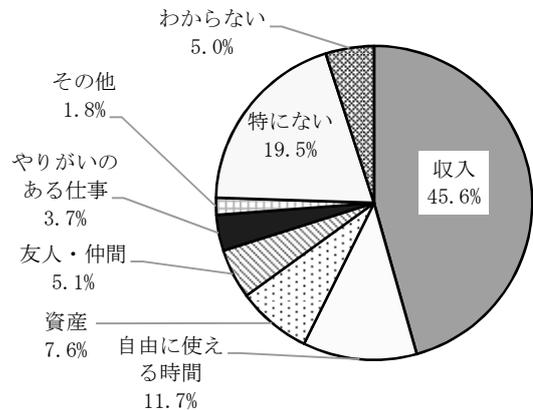
問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から二つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 自由に使える時間	11.7
2 収入	45.6
3 資産（土地、家屋、預貯金等）	7.6
4 やりがいのある仕事	3.7
5 友人・仲間	5.1
6 その他	1.8
7 特にない	19.5
8 わからない	5.0

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が45.6%と特に多く、以下「自由に使える時間」（11.7%）、「資産（土地、家屋、預貯金等）」（7.6%）の順となっている。

また、「特にない」と答えた人の割合が19.5%となっている。

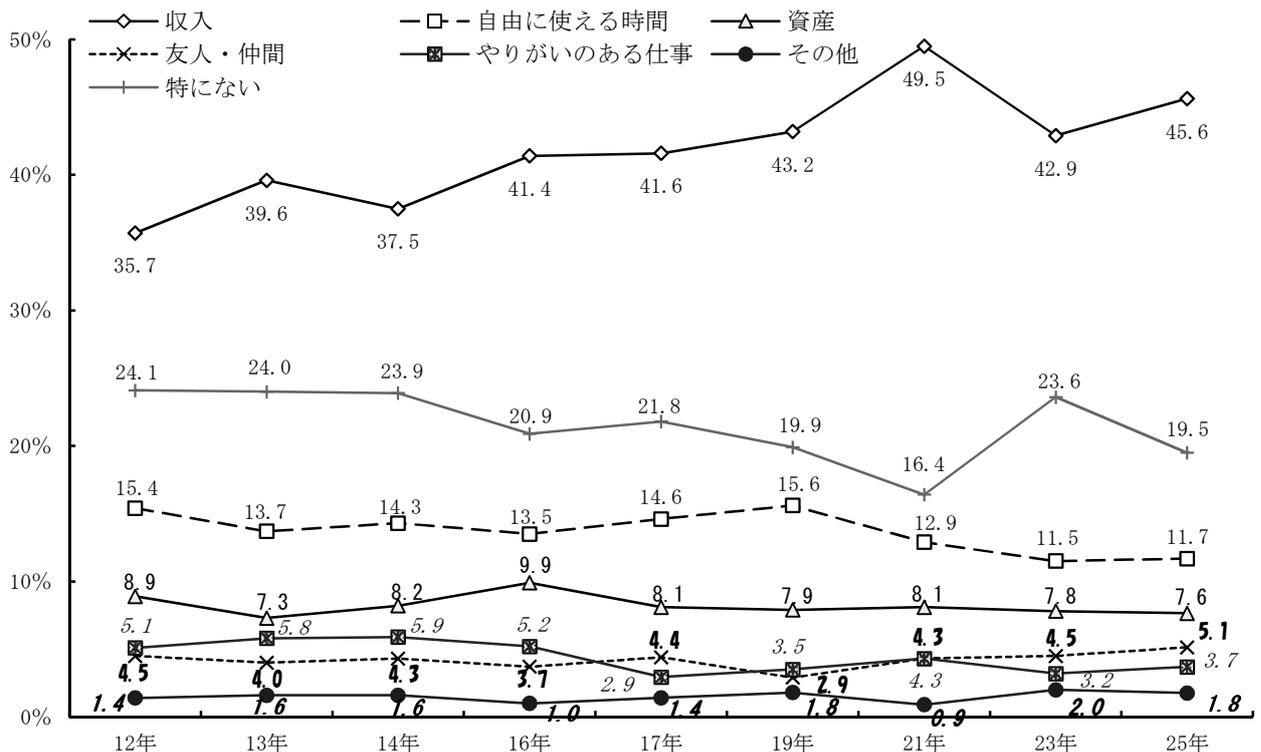


【経年変化】

経年変化をみると、「収入」と答えた人の割合が平成14年調査以降増加し続けていたが、前回調査では減少したものの、今回2.7ポイント増加している。

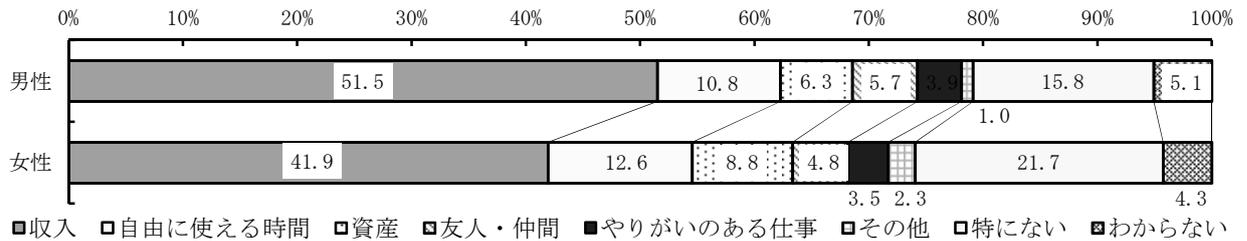
また、「特にない」と答えた人の割合が、前回調査より4.1ポイント減少している。

この他、「友人・仲間」と答えた人の割合が0.6ポイント上昇し、平成12年調査以降では最も多くなっている。



【性別】

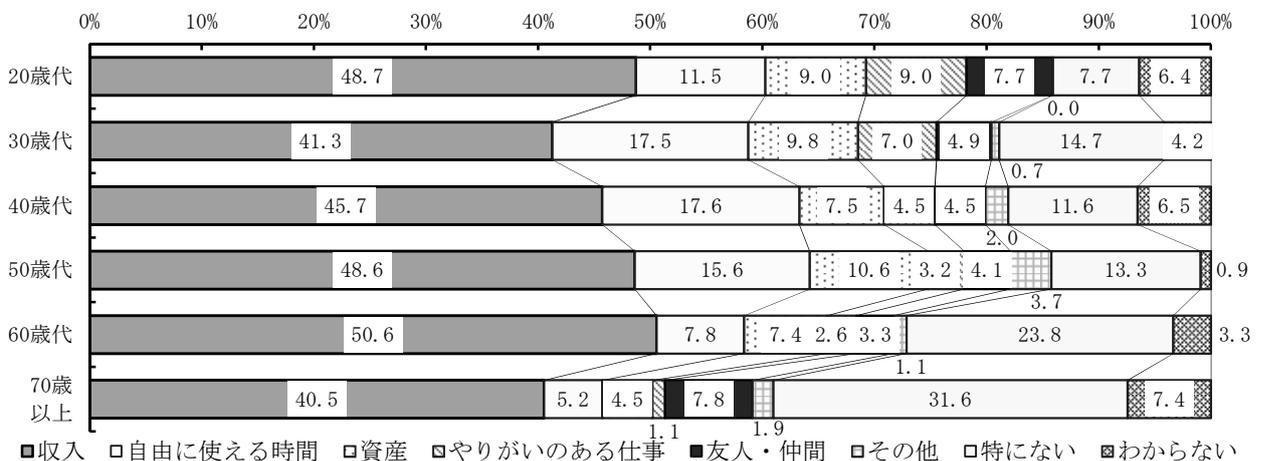
性別にみると、男女共に「収入」と答えた人の割合が最も多く、男性のほうが女性より9.6ポイント多くなっている。また、「特にない」と答えた人の割合は、女性（21.7%）の方が男性（15.8%）より5.9ポイント多くなっており、前回調査よりいずれも減少（男性4.9ポイント減少、女性3.5ポイント減少）している。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「収入」と答えた人の割合が最も多く、70歳以上では前回調査より10.9ポイント増加しているが、40歳代では8.5ポイント減少している。

また、60歳代（23.8%）と70歳以上（31.6%）では「特にない」と答えた人の割合が他の年齢層と比較して特に多くなっている。

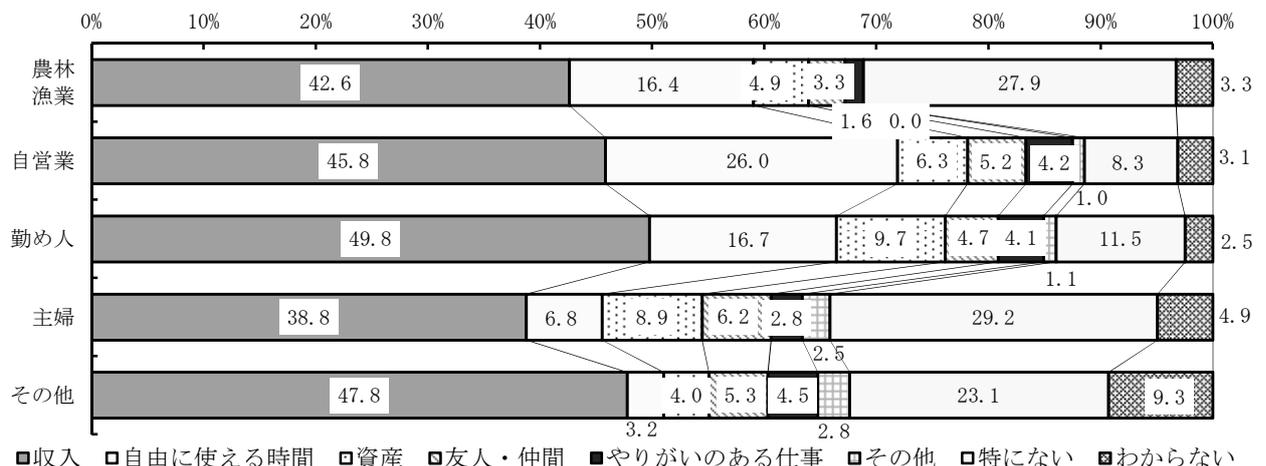


【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「収入」と答えた人の割合が最も多いが、前回調査と比較すると農林漁業及び主婦で減少している。

また、自営業においては、「自由に使える時間」と答えた人の割合が、農林漁業及び主婦は「特にない」と答えた人の割合が、それぞれ他の職種と比較して多くなっている。

この他、全ての職種で「特にない」は減少しており、中でも自営業では19.3ポイント減少している。

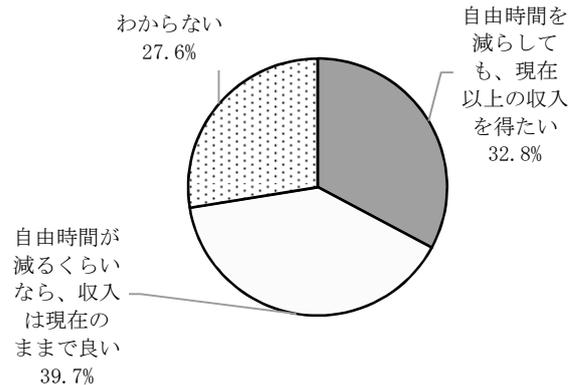


問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

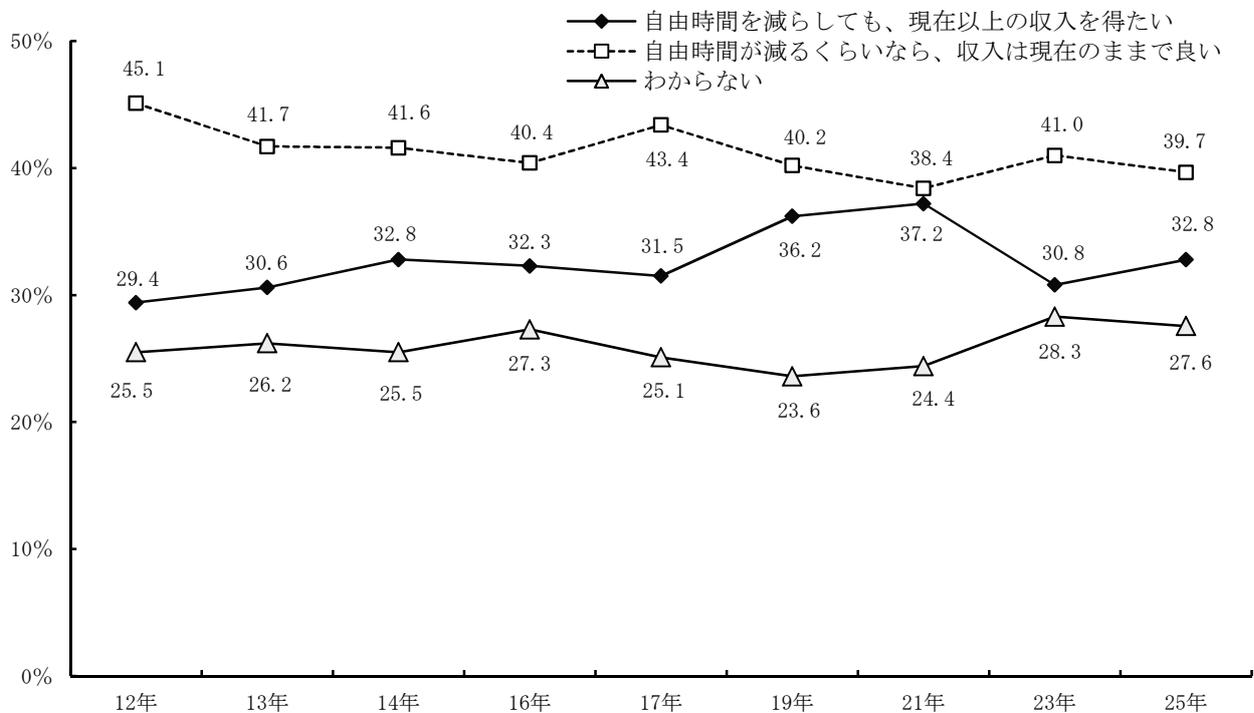
	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	32.8
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	39.7
3 わからない	27.6

自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」（収入派）と答えた人の割合が32.8%、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」（自由時間派）が39.7%で、自由時間を重視する人の割合の方が多くなっている。



【経年変化】

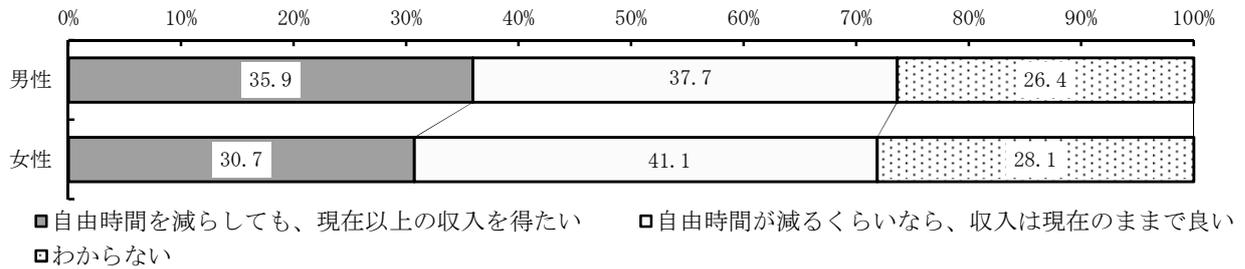
経年変化をみると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合と「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合の差は、前回調査よりも縮まり、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は2.0ポイント増加し、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が1.3ポイント減少し、その差が6.9ポイントに縮まった。



【性別】

性別にみると、男女共に「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が最も多くなっている。

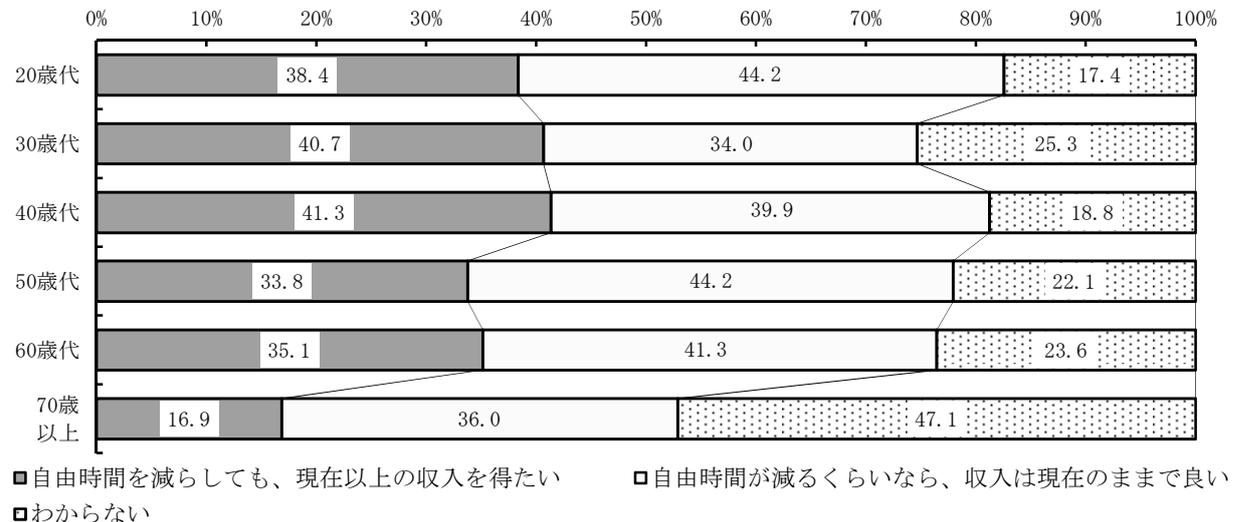
また、前回調査と比較すると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が男性で2.5ポイント、女性で2.7ポイント増加している。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代及び40歳代では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多く、その他の年齢層では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合の方が多くなっている。（70歳以上では、「わからない」と答えた人の割合が最も多い）

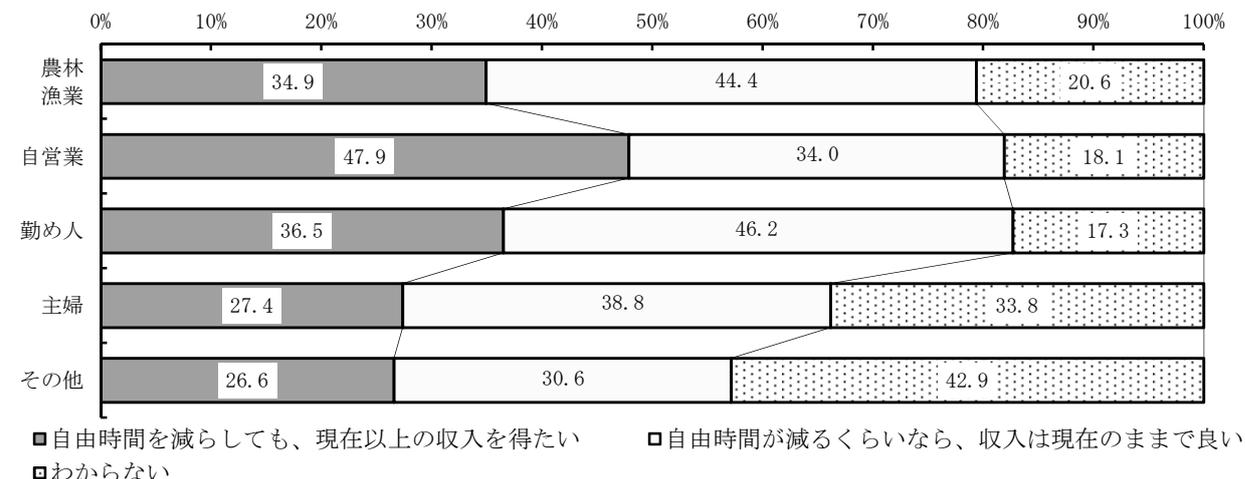
また、前回調査と比較すると、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が、20歳代では前回調査より7.7ポイント増加している。



【職業別】

職業別にみると、自営業では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多く、自営業以外の職種では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合の方が多くなっている。（その他の職種では「わからない」と答えた人の割合が最も多い）

また、前回調査と比較すると、自営業では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が6.3ポイント増加している。

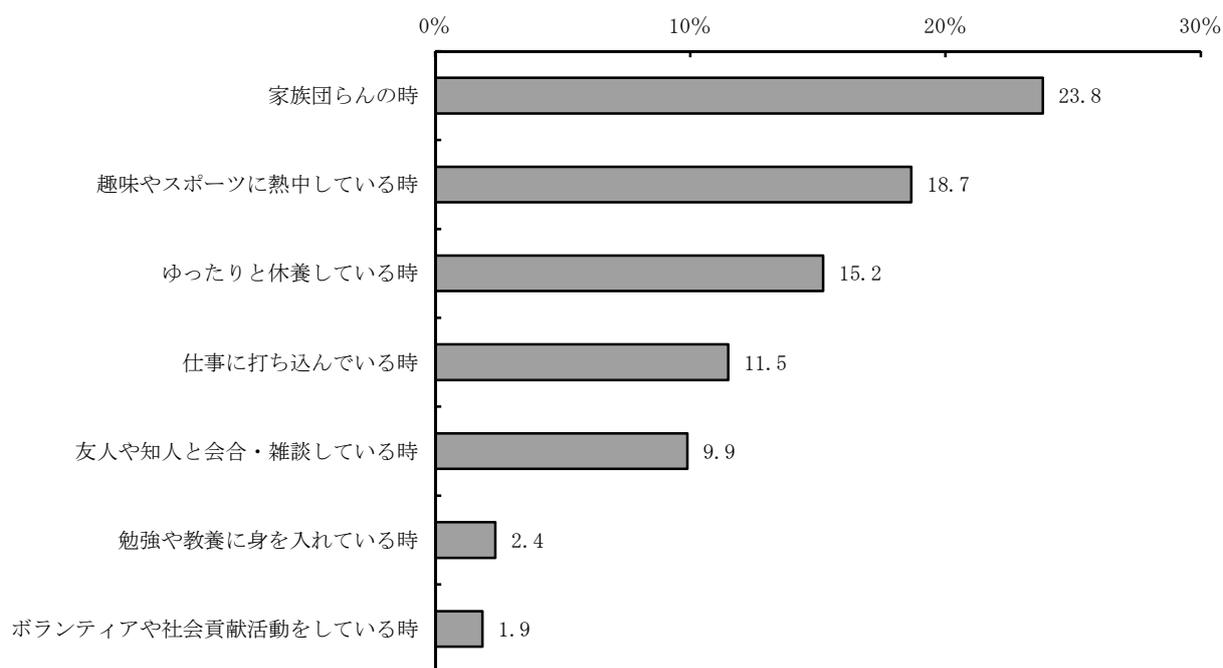


問10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日ごろの生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から二つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	11.5
2 勉強や教養に身を入れている時	2.4
3 趣味やスポーツに熱中している時	18.7
4 ゆったりと休養している時	15.2
5 家族団らんの時	23.8
6 友人や知人と会合・雑談している時	9.9
7 ボランティアや社会貢献活動をしている時	1.9
8 その他	1.7
9 特にない	12.1
10 わからない	3.0

日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が23.8%と最も多く、以下「趣味やスポーツに熱中している時」(18.7%)、「ゆったりと休養している時」(15.2%)、「仕事に打ち込んでいる時」(11.5%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(9.9%)の順となっている。

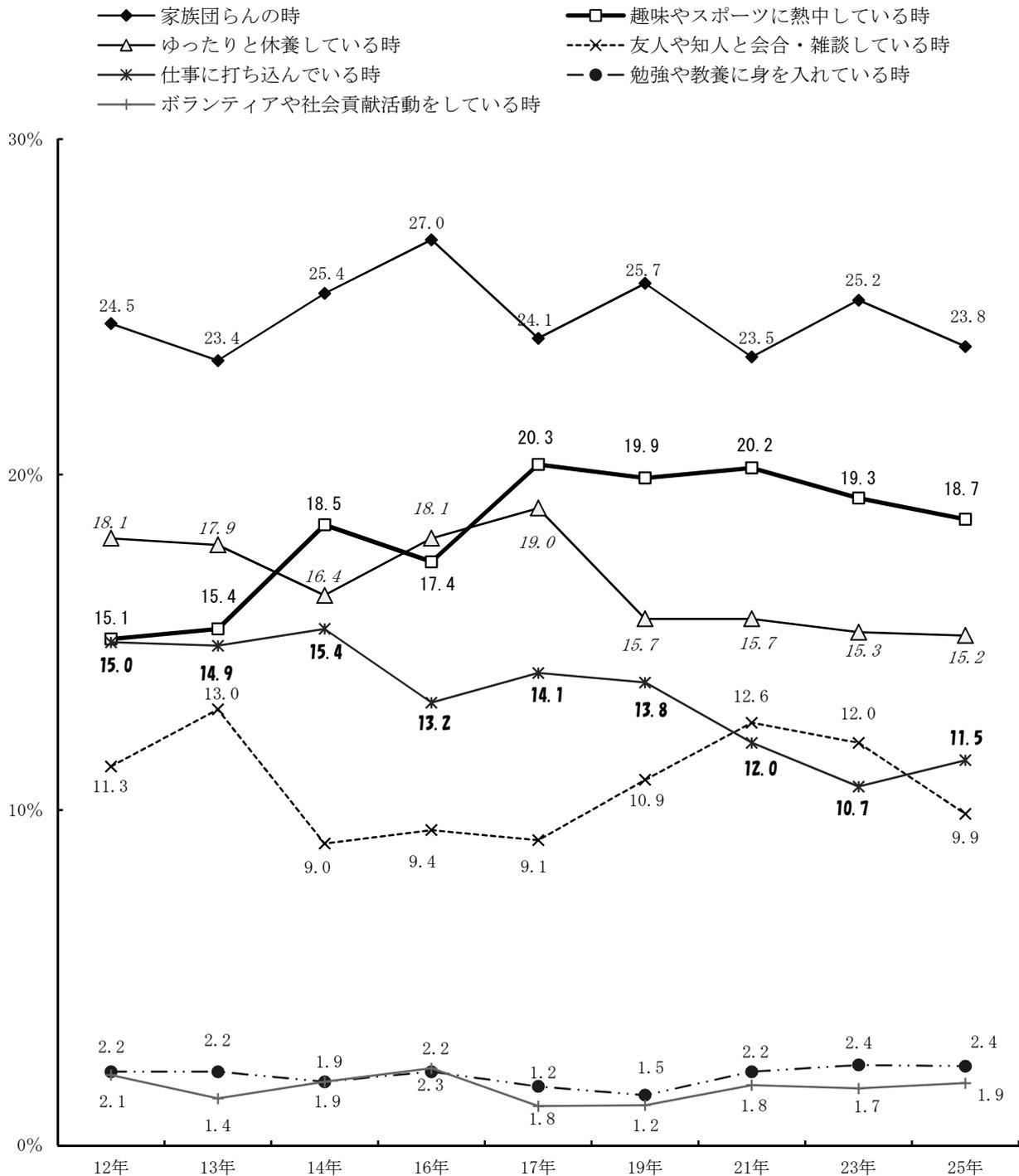


【経年変化】

経年変化をみると、平成12年調査以降では「家族団らんの時」と答えた人の割合が25%前後で最も多くなっており、今回も23.8%であった。

また、「趣味やスポーツに熱中している時」は平成17年調査までは増加傾向にあったが、平成17年調査以降は、やや減少傾向となっている。

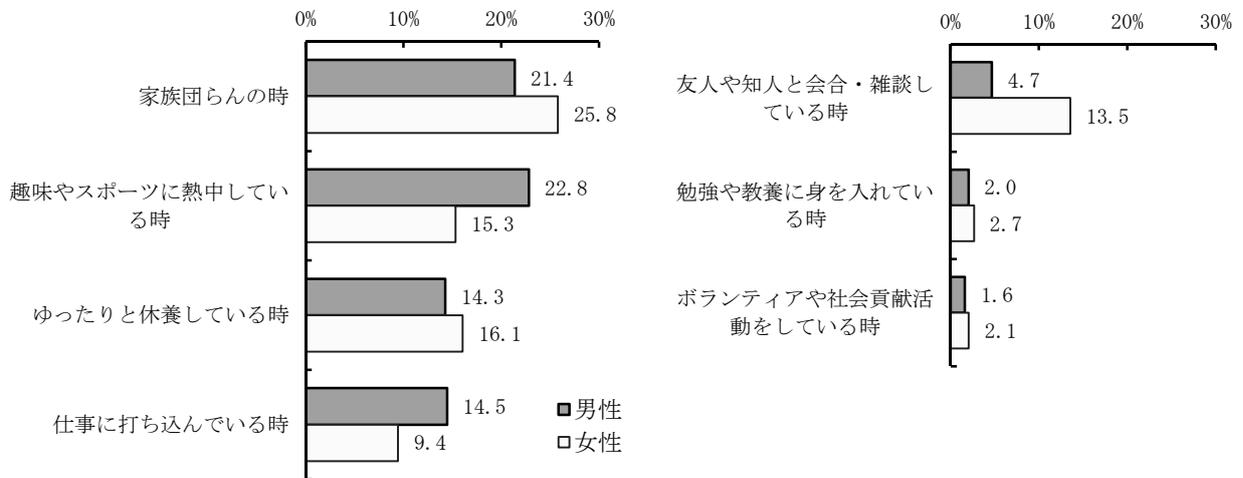
この他、平成17年調査以降減少している「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合が前回調査より0.8ポイント増加している。



【性別】

性別にみると、男性では、「趣味やスポーツに熱中している時」、女性は「家族団らんの時」と答えた人の割合が最も多い。男性では、「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合が、女性よりも7.5ポイント多く、女性では、「友人や知人と会合・雑談している時」と答えた人の割合が、男性よりも大幅に多い。

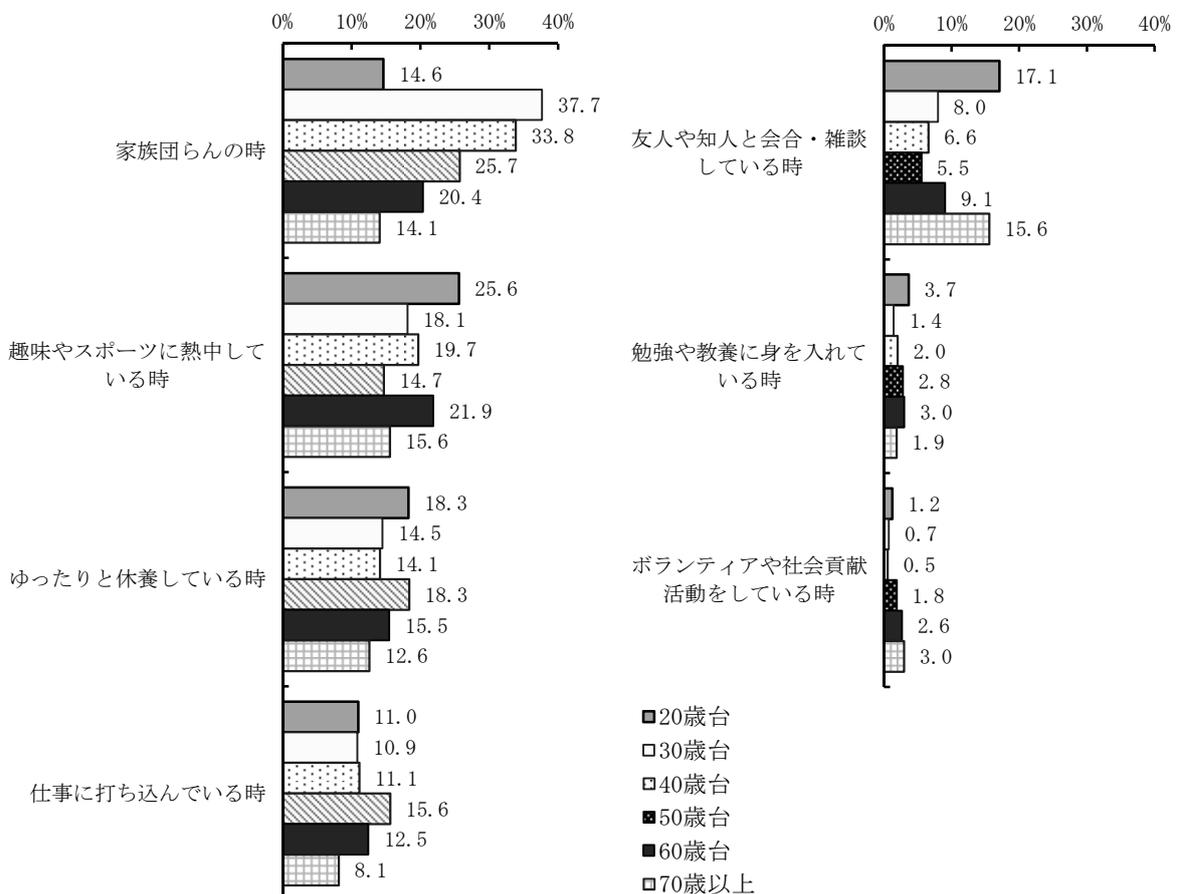
また、前回調査と比較すると、全体的に男女共に同じ傾向であるが、男性において、「友人や知人と会合・雑談している時」が3.5ポイント減少し女性との差が開いている。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代から50歳代では「家族団らんの時」と答えた人の割合が最も多くなっている。20歳代では「趣味やスポーツに熱中している時」が最も多く、他の年齢層と比較して多くなっている。70歳以上では「趣味やスポーツに熱中している時」及び「友人や知人と会合・雑談している時」が同率で最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、20歳代では「家族団らんの時」と答えた人の割合が、2.4ポイント減少しているが、「友人や知人と会合・雑談している時」は7.5ポイント増加している。

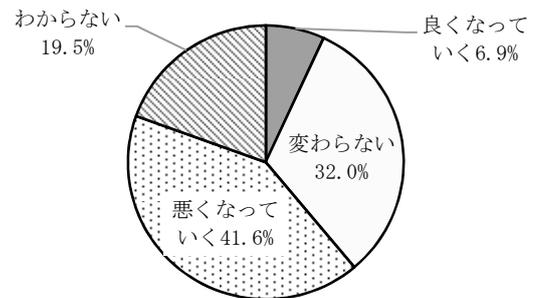


問11 暮らしの先行き観

お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 良くなっていく	6.9
2 変わらない	32.0
3 悪くなっていく	41.6
4 わからない	19.5

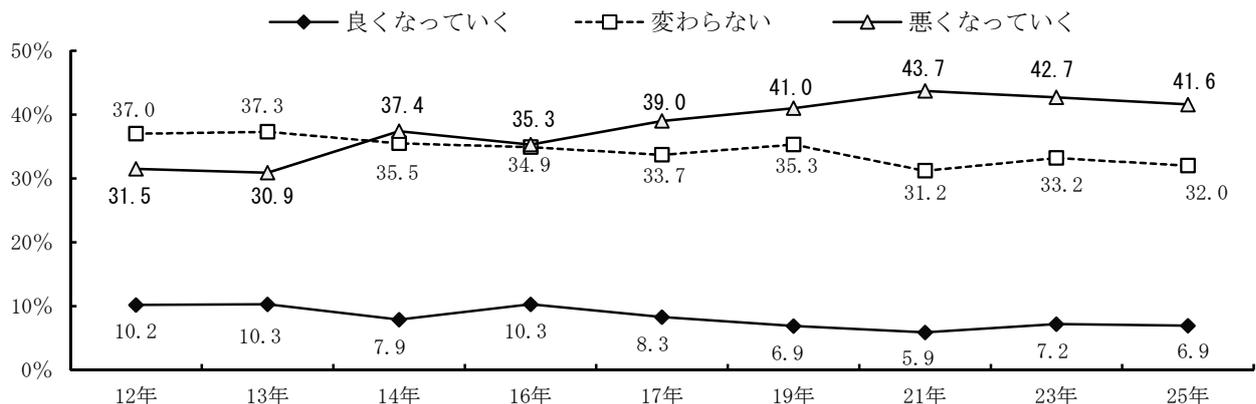
暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「悪くなっていく」と答えた人の割合が41.6%と最も多く、「変わらない」が32.0%、「良くなっていく」が6.9%となっている。



【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなっていく」と答えた人の割合は、平成16年調査以降増加を続けていたが、平成21年以降は減少傾向にある。（前回調査と比較して1.1ポイント減少）

また、「良くなっていく」及び「変わらない」と答えた人の割合は、平成12年調査以降減少傾向にある。

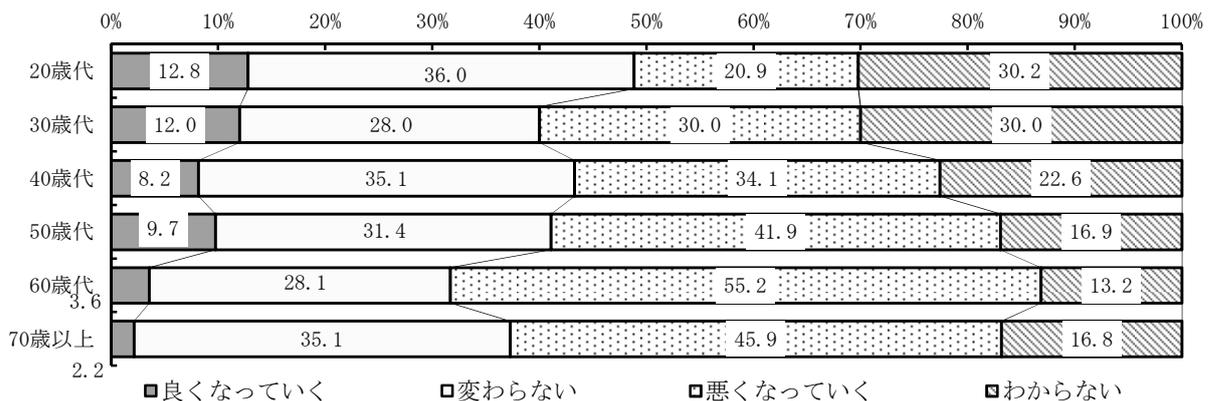


【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から60歳代までは年齢が上がるほど「悪くなっていく」と答えた人の割合が多くなっており、中でも60歳代（55.2%）で他の年齢層と比較して多くなっている。20歳代及び40歳代では「変わらない」が最も多くなっており、40歳代では前回調査より8.1ポイント増加している。

また、「良くなっていく」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高いほど少なくなっているが、前回調査と比較すると20歳代から40歳代で減少しており、50歳代以上で増加している。

一方、「悪くなっていく」と答えた人の割合は、前回調査と比較すると、20歳代から50歳代で減少している。

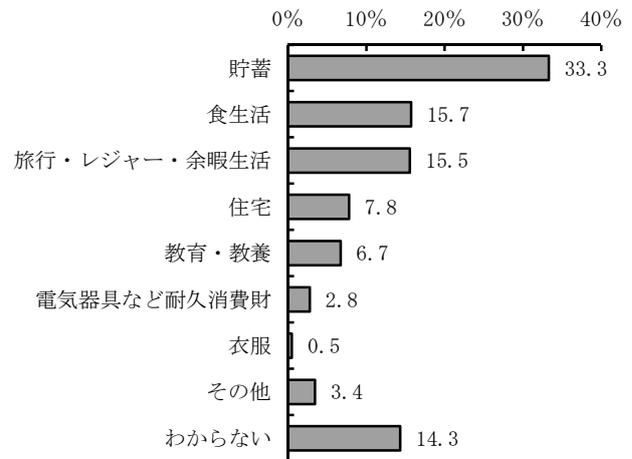


問12 改善したい暮らし向き

今後、お宅の暮らしでどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 食生活	15.7
2 衣服	0.5
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	2.8
4 住宅	7.8
5 貯蓄	33.3
6 教育・教養	6.7
7 旅行・レジャー・余暇生活	15.5
8 その他	3.4
9 わからない	14.3

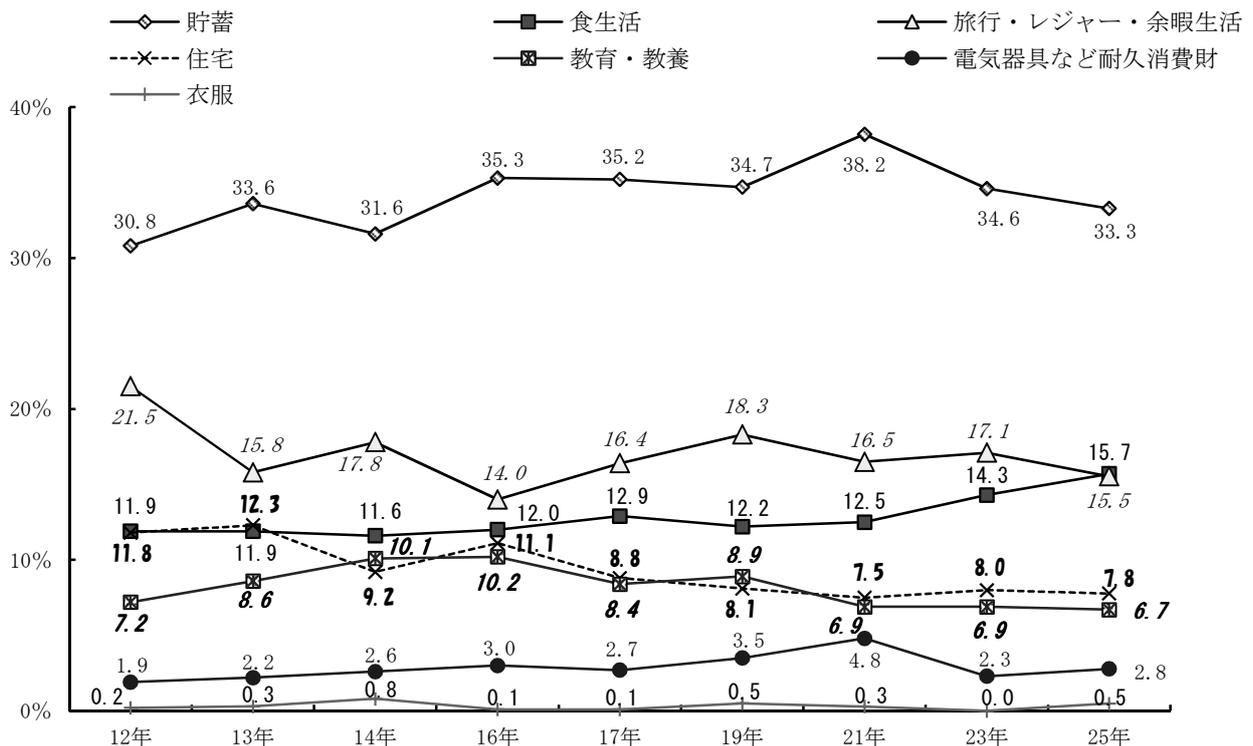
今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が33.3%と特に多く、以下「食生活」(15.7%)、「旅行・レジャー・余暇生活」(15.5%)、「住宅」(7.8%)、「教育・教養」(6.7%)の順となっている。



【経年変化】

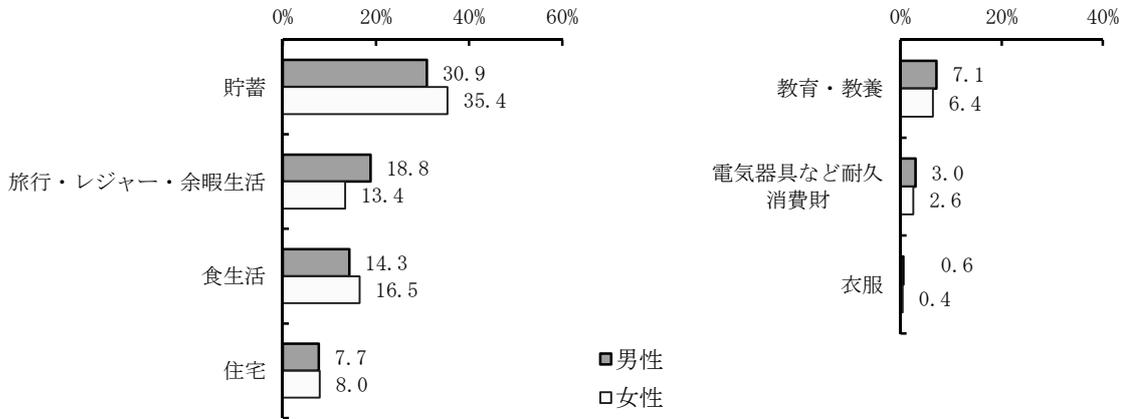
経年変化をみると、平成12年調査以降では、「貯蓄」と答えた人の割合が毎回第1位となっており、今回も前回調査より1.3ポイント減少しているが、最も多くなっている。

また、「食生活」と答えた人の割合は、前回調査より1.4ポイント増加し15.7%となり、平成12年調査以降では最も多くなっている。



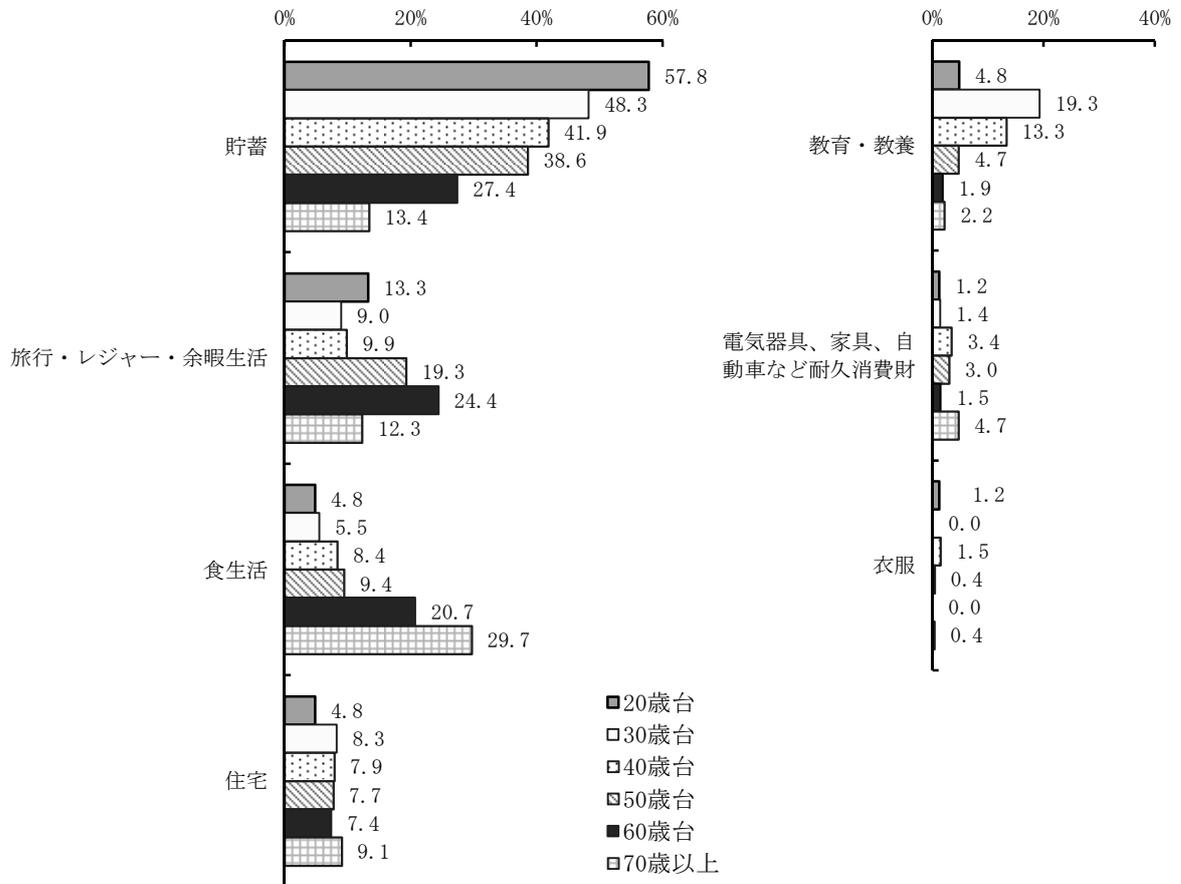
【性別】

性別にみると、男女共に「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、女性（35.4%）の方が男性（30.9%）を4.5ポイント上回っているが、前回調査と比較すると、男性が3.8ポイント減少している。
 また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、男性（18.8%）の方が女性（13.4%）より5.4ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から60歳代では「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、中でも20歳代（57.8%）は他の年齢層と比較して特に多くなっている。70歳以上では「食生活」が最も多くなっている。
 また、「食生活」と答えた人の割合は60歳代及び70歳以上で、「教育・教養」は30歳代及び40歳代で、他の年齢層と比較して特に多くなっている。
 この他、前回調査と比較すると、「貯蓄」と答えた人の割合が、40歳代で5.8ポイント減少、50歳代で5.1ポイント減少している。



問13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい	23.2
2 まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい	20.4
3 一概にはいけない	42.5
4 わからない	13.9

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

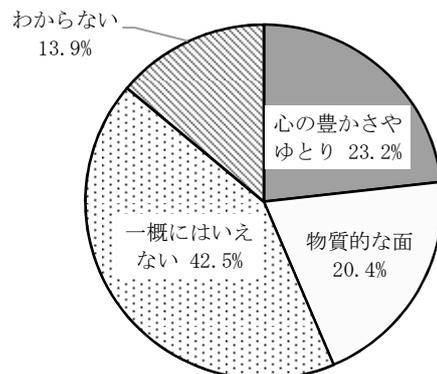
	(回答者 = 245人)	(%)
1 精神修養・自己研さんに努める	5.7	5.7
2 趣味や習い事に生きがいを見つける	13.9	13.9
3 健康を大切にする	43.3	43.3
4 家族・友人とのふれあいを大切にする	27.8	27.8
5 ボランティアなど社会のためにつくす	2.9	2.9
6 自然とのふれあいを大切にする	4.5	4.5
7 その他	1.2	1.2
8 わからない	0.8	0.8

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(回答者 = 233人)	(%)
1 おいしいものをたびたび食べる	7.3	7.3
2 耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし	22.7	22.7
3 広くて設備の整った家に住む	26.2	26.2
4 趣味・娯楽に関する良いものを購入する	16.3	16.3
5 衣服や身の回りのおしゃれができる	9.0	9.0
6 その他	10.3	10.3
7 わからない	8.2	8.2

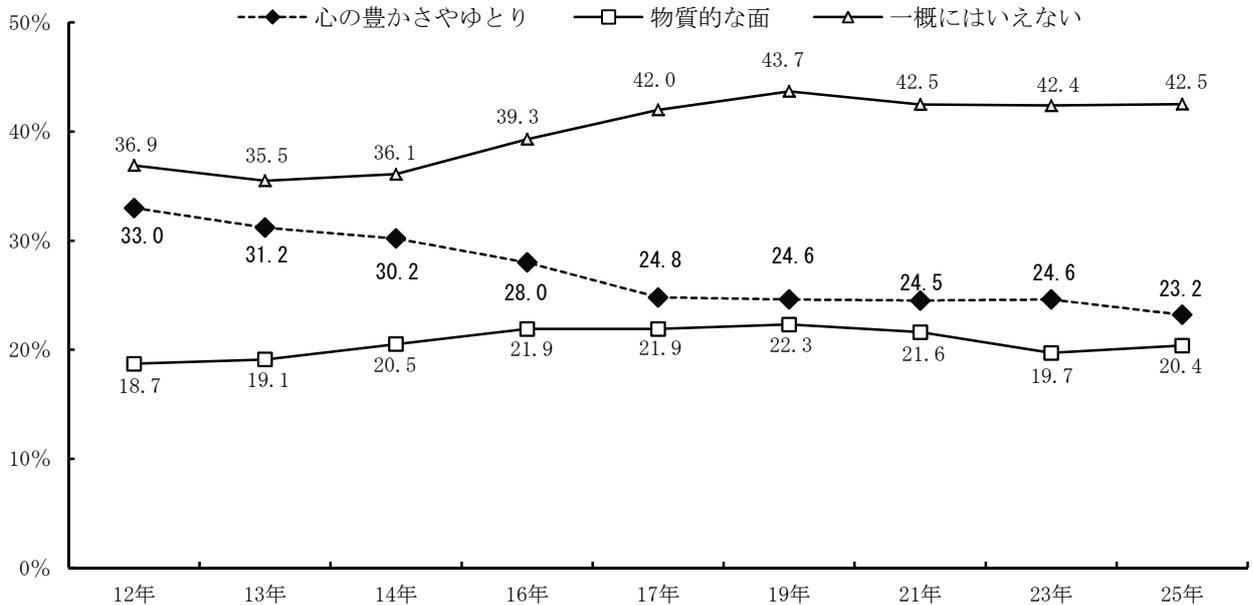
今後の暮らしについて、心の豊かさか物の豊かさかどちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」（ゆとり派/以下「心の豊かさやゆとり」という。）と答えた人の割合が23.2%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（物質派/以下「物質的な面」という。）の20.4%を上回っている。

また、「一概にはいけない」と答えた人の割合は42.5%であった。



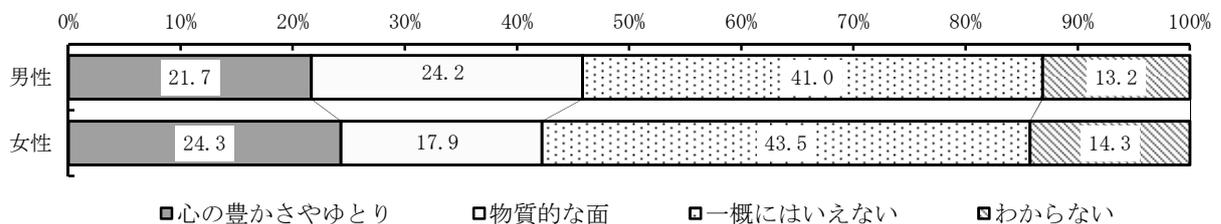
【経年変化】

経年変化をみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は減少傾向にあったが、平成17年調査以降は25%程度で大きな変化が見られない。今回は若干減少し23.2%であった。一方、「物質的な面」と答えた人の割合は、平成12年調査以降は20%前後で推移している。今回は若干増加し20.4%であった。また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は、前回調査とほぼ同じであった。



【性別】

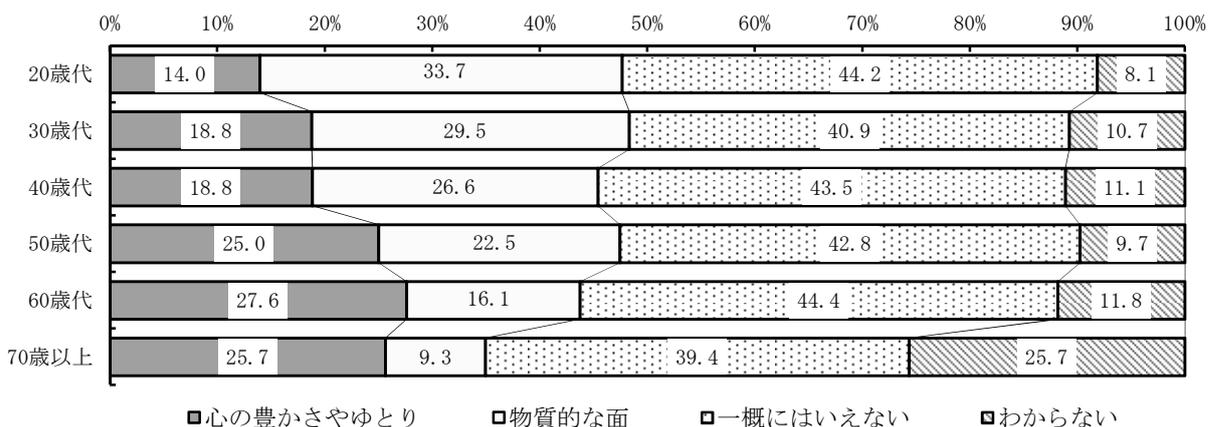
性別にみると、「物質的な面」と答えた人の割合は、男性（24.2%：前回調査より2.4ポイント増加）の方が女性（17.9%：前回調査とほぼ同じ）より6.3ポイント多くなっており、一方で「心の豊かさやゆとり」は女性（24.3%：前回調査より3.1ポイント減少）の方が男性（21.7%：前回調査とほぼ同じ）より2.6ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高いほど多くなっており、60歳代（27.6%）で最も多くなっている。一方、「物質的な面」と答えた人の割合は、概ね年齢層が低いほど多くなっており、20歳代（33.7%）で最も多くなっている。

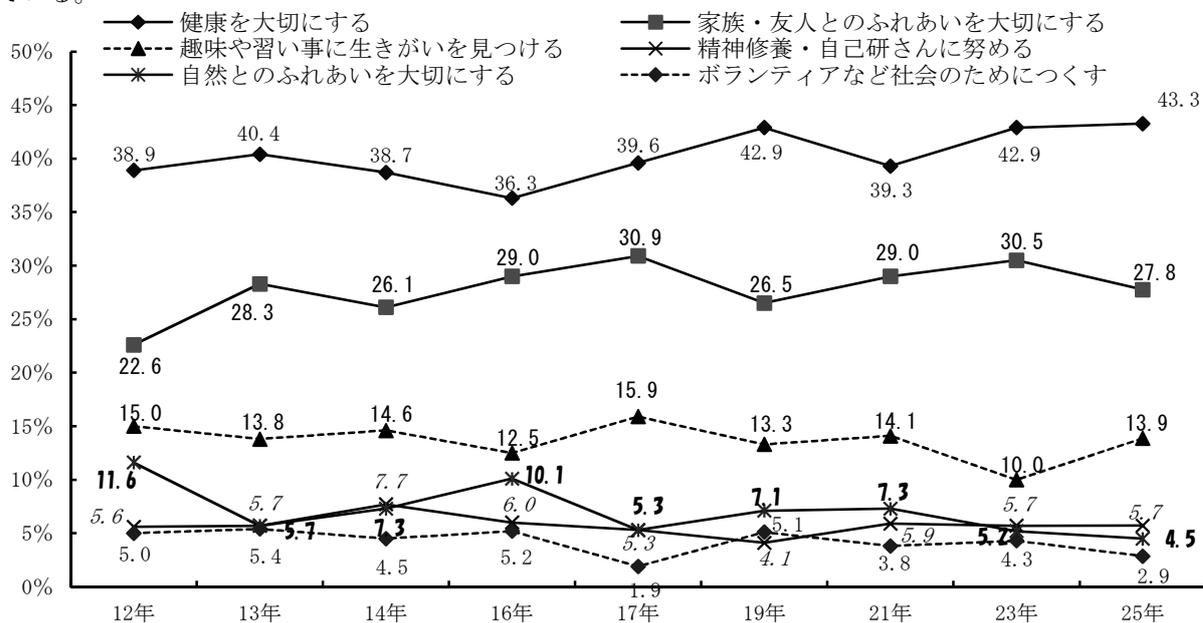
また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は、どの年代も大きな差はないが、同項目を前回調査と比較すると、20歳代（12.9ポイント増加）、40歳代（11.8ポイント減少）で大きく変化している。



《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」と答えた人の割合が43.3%と最も多く、以下「家族・友人とのふれあいを大切にする」（27.8%）、「趣味や習い事に生きがいを見つける」（13.9%）の順となっている。

また、経年変化をみると、「家族・友人とのふれあいを大切にする」と答えた人の割合は、前回調査より2.7ポイント減少しているが、「趣味や習い事に生きがいを見つける」は、3.9ポイント増加している。



《「物質的な面」の具体的内容》

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合が26.2%と最も多く、以下「耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし」（22.7%）、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」（16.3%）の順となっている。

また、経年変化を見ると、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合は、19年調査までは減少傾向にあったが、それ以降増加に転じたものの今回6.2ポイント減少している。「耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし」と答えた人の割合は、前回調査より3.6ポイント増加している。

この他、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」と答えた人の割合は、前回調査から5.5ポイント減少している。

